

花蕾形状良好な早生ロマネスコ

NX-CL322

ロマネスコ

予告品種



北海道の秋どりの作型では7月中下旬に定植となるため、生育初期から高温ストレスがかかり、生育にばらつきが出たり、異常高温を受けると収穫時期が1ヶ月以上遅れることもありました。

しかし、「NX-CL322」では従来品種よりも早く収穫できるため、本格的な冬が来る前に収穫することができます。

「NX-CL322」の魅力と評価

- ①「スパイラル」より1週間～10日以上早く収穫できる。
- ②生育強健で揃いがよい。
- ③花蕾は美しく、乱れが少ない。頂花部分は帯状になりにくい。

6月25日播種、10月9日収穫

(北海道江別市)



美しい花蕾!

頂花部分は、帯状になりにくいので秀品率が高い。



花蕾の形状よく、揃いもよい!

収穫時期も一斉収穫可能。揃いもよい。



程よい包葉性!

「スパイラル」と比べると包葉性はやや劣るが、収穫時期の目安がわかりやすい。

初夏どり栽培のポイント

- ① 花蕾が露出すると部分的に赤く着色することがあります。十分に葉を伸長させ、花蕾を包み込むように育てて下さい。また、花蕾の形状が崩れやすいので、花蕾径10～12cmとやや小ぶりの時期に収穫することもポイントです。
- ② 花蕾への包葉性は「スパイラル」より弱いので、日焼けしないように、しっかりと樹を作ることがポイントです。



「NX-CL322」なら高い歩留まりが期待できます。詳しい作型はP13参照。